

大会名 Competition	第29回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会			
No, M-109	Year	Month	Day	Time
	2016	年	5月	4日 15:35
場 所 Place	能代市総合体育館			

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB	
帝京長岡		明 成	
72		53	
○		●	
		E P	

主審:Referee
久保 知仁 千葉
副審:Umpire
佐藤 良明 秋田
古川 俊和 福島
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代高

No,	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No,	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	神田 大輔	CAP	3	1	0	0	2	4		古川 空音	CAP	-	-	-	-	0
5	×	遠藤 健斗		0	0	0	0	0	5		塚本 舞生		-	-	-	-	0
6	／	高橋 凜太郎		2	0	1	0	2	6	×	相原アレクサンダー 学		10	2	1	2	3
7	×	遠藤 善		17	3	4	0	2	7	×	庄司 勇人		25	2	7	5	2
8	／	祝 俊成		5	0	1	3	2	8	×	八村 阿蓮		6	0	3	0	5
9	／	川崎 竣平		3	1	0	0	0	9	×	江戸保 礼央		0	0	0	0	4
10		本間 陸		-	-	-	-	0	10	／	本間 紗斗		6	2	0	0	1
11		近藤 研吾		-	-	-	-	0	11	／	江戸保 賢人		5	1	0	2	1
12	／	池田 大雅		2	0	1	0	3	12		伊藤 修人		-	-	-	-	0
13	×	TIRERA TAHIROU		20	0	7	6	0	13	／	川村 亮汰		1	0	0	1	0
14	／	BULA GULORIDA		18	0	7	4	2	14	×	清水 翔太		0	0	0	0	2
15	／	平野 行真		2	0	1	0	3	15		梁瀬 亮		-	-	-	-	0
16		新保 圭介		-	-	-	-	0	16		井上 耀		-	-	-	-	0
17		多田 幹也		-	-	-	-	0	17		五十嵐 健人		-	-	-	-	0
18		佐野 翔太		-	-	-	-	0	18		田中 裕也		-	-	-	-	0
コーチ		柴田 勲						0	コーチ		佐藤 久夫						0
Ａコーチ		早川 永幸						0	Ａコーチ		木伏 智久						0
合 計				72	5	22	13	16	合 計				53	7	11	10	18

※×:スターター 〃:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チームともに1勝1敗となり上位進出のためにも負けられない一戦。

1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。立ち上がり、長岡は#13TERERAのジャンプシュートで先制し、さらに#7遠藤、#4神田の3P、#13TERERAのゴール下で得点を重ねる。中、外から効率よく得点する長岡に対し、明成はノーマークでシュートを放つものの決めることができず、長岡が試合の主導権を握る。明成は積極的な1on1で何とか得点に結びつけようと試みるが、長岡の高さの前に攻め切ることができない。長岡はその後を着実にインサイドで加点し続け、26-7で1Qを終了する。

2Q、明成は長岡#13TERERAを徹底マークし、ディフェンスリバウンドをきっちり奪えるようになると、長岡のシュートも落ち始める。明成ペースになるかと思われたが、1Q同様シュートを決めきれずタフショットが多くなり、試合は膠着状態となる。

終盤両者とも単発でシュートは入るものの流れを引き寄せるには至らず、39-18長岡21点リードで前半を終了する。

3Q、序盤、長岡は#13TERERAのインサイド、#7遠藤の3Pなどで50-20と一気に点差を30点差に広げる。残り6分、明成はタイムアウトを取り、#7庄司の1on1を中心にしたオフェンスパターンを切り替える。すると徐々に攻撃にリズムが生まれ始め、#10本間、#7庄司の3Pなどで53-34と盛り返す。その後互いに加点し、55-36で3Q終了。

4Q、長岡は#14BULAの豪快なスラムダンクを含む連続得点で突き放しにかかる。一方明成は#7庄司、#6相原の果敢なドライブで確実に加点し、両チームともにチームの特色を生かしたオフェンスで会場を沸かせる。結局72-53で長岡が勝利したが、一時の30点差から13点差まで追上げた明成にも賛辞を贈りたい。